大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十三年九月廿三日印刷納本

日本基督教會

十月號

偉人と小學教育
思想の國際共和國
—英獨佛の功績—
知識の統一と主婦
△三ツの現象
△國家の尺度なる家庭
△主婦の位置と林檎の位置
△現實の主婦の能力
パーソナル・イクエションの問題
△過激主義者
△依然と跋扈する待合政治
—編輯の後—

大正十三年十月一日發行　第五十五號　每月一回一日發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

偉人と小學教育

英國に今を時めく勞働黨首領であり、現在の首相であるマクドナルド氏、及び、スノーデン藏相の學歷は？　と云つて、小學校教育を受けたゞけの人です。

と云ふと彼等は實に小學校教育だけでよいと云ふことは斷じて云へません。

なぜなら、彼等は高等な學校へこそ行つて居なくても、今日迄に人類が蓄へて來た知識の庫を最も深く最も廣く利用してゐるに相違ありません。

そして、其の知識の庫の建設には多くの天才の努力、及び、天才の努力を可能ならしむる莫大な資金が費されてあるのです。

して見ると、彼等は學校と云ふ形式こそ用ひなくとも、矢張り、中學大學の學生と同じように過去の天才及び過去の資金が作つた果實を享有してゐるのです。

たゞ、一般人は中學大學と云ふ枠を足がかりとして、やうやくにも手に入れる果實を彼等はそんな枠になどよることなく、獨力でそれ等の果實を我が手に入れる程優れた頭腦の持主であるのです。

そんならば、彼等が小學校を出たゞけだからと云つて彼等の頭腦が小學卒業生程度のものだと思ふのは馬鹿氣てゐると同じように教育は小學校だけでお充分だと云つて高等教育を輕視するようなことがあるならば其れは餘まりにも淺薄です。

要は過去の文明を利用しなければ手も足も出ないのです。

過去の文明なるものを古いと稱してさも無用視しようとし、新らしきをもつて誇ろうとする所謂新人なる者の暗愚を憐れまざるを得ないわけです。

少なくとも、さう云ふ宣傳をしようとする傾きのあることは憎むべきです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思想の國際共和國

——英獨佛の功績——

昨年の本誌七月號に一寸發表して置きました反譯事業は震災のため出版者との解約となり其のまゝ中止の狀態となつて居りましたが、其の後、又「世界文庫刊行會」から出版されることゝなりましたので此の頃又ボツ〳〵仕事を進めて居ります。そして、今、丁度、英獨佛三ヶ國の「科學的精神」の章を終りましたが、それ等の章に於ては、科學に對する三ヶ國の功績を詳細に記述した後に次の一文のように結んであります。

測量、計算、及び、分類を大規模に於て實行し、組織し、そして、自然界全部に渡る研究のために使用した最初の國は佛蘭西である。科學院（アカデミー）は、高等（サイエンス）科學の學校、博物館、及び、醫學校と相聯絡して佛國民の最高知識普及の組織を造つた。それによつて天體と地球、及び、無機物と有機物の組織的探究が當然企てられたのである。同時に、測量及び計算の方法は一層委しくなり、そして、それ等の方法を應用することによつて新らしい科學が生れ、そして、諸問題が始めて研究されるようになつた。その諸問題は十九世紀の終りに當つて、猶、科學界に於て研究されてゐるものである。」

思想の國際共和國

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

且ツ、又、研究所の發見を產業及び技術に應用して、それ等の方面に革命を起した最初の國も佛蘭西である。十九世紀の初頭に於て科學的精神はあらゆる方面に於て、――實質も形式も昔の作品の完全さに匹敵し出來る製作に於て、人生と社會の問題への其の應用に於て、及び、一般文學への其の影響に於て――佛蘭西に充分に設定されたことを我々は見る。

それより三十年ばかり後に此の科學的精神は獨逸に這入つてゐた。嚴正科學の研究は漸々と大學を一括するに無くてならない一部分として獨逸大學に取り入れられて行つた。此の科學的精神は獨逸に於て哲學的及び古典的精神と合し、獨逸大學、及び、高等學校の教授法を組織し、そして、歷史的、殊に、哲學的研究法を革命した。佛蘭西の科學のうちに、時には、缺けてゐたもの、則ち、歷史的完結、及び哲學的批判が獨逸に於て附け加へられたのである。獨逸は此の十九世紀中に全世界の科學的仕事の最も忠實な、そして、綿密な記錄の蓄へ所となつたのみならず、猶、又、自然科學と哲學の境界に存する其れ等の問題、則ち、生命と意識の問題を主もに研究する國となつた。

近代の生理學、殊に、精神物理學は根本的に獨逸の科學である。

組織的な嚴密な設定された研究法としての科學的精神が英國に取り入れられたのは獨佛よりも後

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつた。けれども、英國は此の十九世紀中にも、以前と同じように、多くの獨立してゐる科學の部門に於て其の率先者としての仕事を續けてゐた。結社的努力とは反對の個人的努力がいくつもいくつもの素晴しい發見となり、そして、それが實際生活を改革し、或ひは、自然界の今迄に見へてゐなかつた場所を見へるようにした。獨佛が所有してゐた如き研究及び教授の組織が無いために、思想家のそれ等の觀念は、度々、社會に現れなかつたり、又は、外國の天才の手で仕上げられたりした。けれども、その組織、及び、一定の研究過程が無いために、獨創的天才は自然及び人生との一層親しき交際から彼等は度々全く新しい發見を得て研究室に歸つたりした。

形に於て實質に於て完全な、永久に古典とすべき作品の最大多數は恐らく佛蘭西に屬する。そして、科學的仕事の最大分量は恐らく獨逸に屬する。けれども、此の十九世紀中、科學を實らせた新らしい觀念の大部分は恐らく英國に屬する。と云ふのが先づ歷史の公平な判決であるだらう。そして、十九世紀の後半に於ては三國平等化の過程が進んで、以前の各國獨有の特徵が擦悄されて行つた。科學と生活の大問題は、今や、何處の國でも同じ方法によつて研究されてゐる。科學の教授は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同一線の上に進められ、思想及び發見は萬國共有の財産となつた。

故に、學問のこの國際共和國の一員として生れた人々にとつては、如何にしてこの共和國が成立したか？　その成立のために各國民が貢献したものは何であるか？　そして、一度は巴里にのみ存在してゐた嚴正科學の精神が如何にして凡ての國々へ普及して行き、世界の思想及び文學を醱酵させたかを探るのは興味あることであるに相違ない。

知識の統一と主婦

三つの現象

私共は自分の住んでゐる此の地球を大きなものだと思つてゐます。けれども、此の地球は單に宇宙のうちの一ツの星であること、又、この星以外の多くの星に付て、及び、太陽、月に付いて天文學は詳細に語り、何々の星は何年目毎に、どの邊へ、此の地球とは何々萬里を隔てゝ現れるとか、太陽及び月は何年何月何日何時にはこう云ふかたちになるとか、本當に正確に何百年何千年、否、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

恐らく永久に一分一厘の間違ひもなく正確に計算されてあります。實に天文學の進歩は驚くべきものです。

かと思ふと、それとは、又、反對の方面に於て、則ち、微細なものに付ても可なり精しく學者の手によつて調べられてあります。私共の皮膚、筋肉、又は、血液などは、どう云ふ性質のもので、どう云ふ恰好をしてゐて、どう云ふ風に組み立てられてあるかと云ふことと迄委しく説明してありま す。

實に、私共普通人には見當も付かないような途方もない大きなもの、つまり、無限大なるもの、又は、最強度の顯微鏡を用ひても私共素人には見わけさへつかないような小さいもの、つまり、無限小なるもの迄詳細に研究され、説明されてあるのです。

そして、その途方もない無限大なるもの、又は、無限小なるものを調べ得るやうになつた手がかりは何であつたかと申しますと、それは、私共普通人の目にもはつきりと見へ、私共の手でも取り扱ふことの出來るもの、つまり、度量衡器を用ひて計ることの出來るものを標準として研究が進められたのだと云ふことです。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ひ直しますと、此の宇宙間のあらゆる現象を大體三ツに分けて、無限大現象、有限大現象、微分子現象とし、そして、中間の有限大現象を取り扱ひ測定する方法を改良し延長して、そして、無限小のものにその方法を應用し、測定し得るようになつたのだと云ふことです。

國家の尺度なる家庭

共處で、私共の直接の問題、則ち、婦人問題にしても、矢張り、其の方法で行きたい。つまり、私共婦人が日常家庭内で經驗し、其處から得た知識を押しひろげて國家に應用し活用させたい。

一家庭内には第一愛情が漲つて居なければ家庭らしい家庭にはならない。一家庭内には女性の愛情が缺くべからざるものであるように、國家も、其れが幸福な進歩的なものであるためには、國民の半數である女性の手と女性の愛情が國家的に働いて居なければならない。家庭内に於ては最弱者が最も大切にされるように、國家のうちの最弱者が誰よりも先きに保護を受けなければならない。家族の幸福と進歩のために家庭を衛生的に清潔にとゝのへ、道徳的に純潔に保たなければならないと同じように、國民の幸福と進歩のためには國家を衛生的に清潔に、道徳的に純潔に保

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たなければならない。

さふ云ふ風に考へて、目を上げて世間を眺め渡す時には、實に、婦人の手を待つ仕事は數へ切れない程、そこらあたりにころがつて居ります。

家庭内のことゝ國家のことゝは同じでありますから同じ心持ちでそれに對していゝのでありますが、唯、違ふ點は、家庭内の範圍に限られたことならば、自分一人の了見ではどうにでもやつて退けられるに反して、國家のことになると自分一人だけでは力が足りないと云ふことであります。

大きな金力を持つ人は一人でゞも可なり大きな仕事が出來ますが、併し、一人では出來ない。共處で矢張り、國民的に大きく効果を擧げることは出來ない。共處で矢張り、國民的の仕事は國家の則ち政府の手を通してゞなければならないと云ふことになります。

つまり、婦人は自分の家庭に於ける經驗を基礎とし、自分の家族に對すると同じ精神を持つて國民にのぞみ、そして、國民のために國家、則ち、政府の共働を必要とするのであります。

して婦人に共働させるためには、先づ一家庭の正しい要求を世間に發表する必要があります。一家庭の正しい要求は凡ての家庭の要求でありますから、共鳴者が出來るに相違ありません。多くの共

知識の統一と主婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鳴者が出來、そして、それが國民的の要求となつた時に、政府はいやでも應でも其れに對して働かなければならなくなります。

此處に、新時代の婦人は家庭の要求を引提げて廣く共同する必要が起つて來るのです。

主婦の位置と林檎の位置

今の處では、一家の主婦たるもの、責任の重大であることを大抵の人は認めて居りません。重大であることを認めてゐても其の眞の意味に於ける重大さを認めてゐません。

大きく云へば、一國の財政から始めて、産業、教育、外交、其の他一切のものが主婦の爲すべき仕事を通して測定され、そして、將來の計畫が立てらるべき筈です。又、微細な點に付て云ふならば、一國民の心理狀態を左右し、國民の精神生活を向上させる、つまり、最も大切な文明の仕事も一家の主婦の働きによる處が非常に大きいのです。

丁度、此の文の冒頭に申ましたように、有限大現象を標準として、無限大現象及び無限小現象が測定されるように、一國内の事柄は家庭を中心として、財政、産業、國際、其の他あらゆる大きな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問題、及び、國民の心理の動き方のような微細な點迄が測定されるのです。

木から落ちる林檎の引力は地球の中心に直接聯絡してゐます。そして、微細な細胞から成り立つてゐる其の林檎は地球の中心を通して太陽の中心に直接聯絡してゐる一家の主婦の位置はいはゞ宇宙に於ける此の林檎と同じようなものです。

現實の主婦の能力

けれども、顧つて、或る種類の我が國婦人の現狀を見ると實際情けなくなつてしまいます。私自身が常に接觸する範圍内の婦人に付て考へて見ると、家庭内で獲得した經驗は廣く社會に應用しようとするような態度とは餘まりにも餘まりに隔りが大きい。幾人かの子供を育て上げて一家庭の婦人としてはやうやく幾分閑散な身の上になつて、「いさ、これからは社會的に」と云ふ年頃になるや否や、社會的に働く處ではなく、半ボケの狀態になつてしまつてゐる婦人さへあります。

淋しい、悲しい氣持ちで「なぜだらう？」と私は考へさせられること、稍久しいものでありまし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。そして、私はこう思ひました。

とにかく、彼女達は頭を使ふ習慣を持たなかつた。何等の定見も、覺悟も、理想もなく彼女等は無我夢中で結婚生活に入つた。そして、全く無意義に夫のきげんきづまりを取つて居るうちに子供は生れた。子供が發達して行く過程、つまり、子供の頭の動き工合ひなどに付ては少しも觀察もせず考へもせず、生みツぱなしの、他の言葉をもつて云へば野生のまゝの子供をどう仕末してよいか其の術も知らず、唯、アタフタと子供に引きづられて夜を日に次いで氣忙しく、何にかに付て考へる暇も、自己を反省して見る心の餘裕も持たないうちに、早くも二十有餘年の月日が流れてしまつた。（それは、無教育な婦人に於てばかりでなく、先づ、最高教育を受けた婦人ですらも子供に引きづられてゐる點は同じであることが遺憾です。）

子供は皆大きくなつたが、併し、幾分新時代の空氣に觸れてゐる彼等は二十有餘年以前のまゝの頭でゐる母を相手にしない。同時に、初老期に入つた女性の身の性の衝動は著しく減退してしまう全く盲目的、動物的な子に對する愛の働き場所が無くなり、同時に生理的の衝動をも失つた彼女は生きて行く刺戟物を皆失つてしまつた。彼女は生きる張り合ひと云ふものを全部失つてポカンとし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。つまり、半ボケになつてしまつた。と。

（私の此の觀察が誤まつて居れば、それは女性全體の幸福のために大變幸せなことです。私の此の見方に反駁して、そして、反證を擧げて說明して下さる方があれば私は其の方に大いに感謝します。）

要するに、さう云ふ風にして生きて來た婦人は單に動物的生活を送つて來たのであつて、何等人間としての特色を發揮し得なかつたのです、我が國婦人の大多數がさう云ふ狀態であるならば、實際、婦人參政權とか社會改造の第一線に立つとか云ふことは鳥滸の沙汰だと云はれても返へす言葉がありません。けれども、さう云ふ婦人は單に私の知る範圍内に止まつて居て、外には無いことを私は希望してゐます。

新時代の婦人は斷じてさう云ふ過程を踏んではならない。子供を育て上げると同時に、半ボケの狀態に陷る其の動物的生活を恥と思ふならば、結婚生活に入る前に其の用意をして置かなければならない。家庭に入つて、家庭の雜事や子供のために手足を縛られても、猶、且ツ、頭腦が自由に働き得るよう、結婚前に基礎的知識を頭へ入れて置かなければならない。そして、一個の人間として、我が子の母としての仕事を完成した後には、廣く社會の母として、男子の頭腦、男子の手ばか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りでは足りない處を補足して、社會全體の幸福の增進に資する處があるように、婦人は希望して止みません。

パーソナル●イクエーションの問題

社會主義者は社會主義の有益な點ばかりを擧げて其の缺點を省みるの雅量を持たないし、資本主義者は資本主義の有効な點のみを固執して其の有害な點を無視する處に越ゆべからさる間隔が生ずる。

社會主義と資本主義に於てばかりでなく、市政の問題、女子教育及び男子教育の問題其の他あらゆる問題に於て、誠心誠意、人類愛的立場から其れを取り扱つても、人間にはパーソナル。イクエーション則ち個々人特有の觀察の誤謬があるから問題が難しくなる。

で、各人が各人にはパーソナル●イクエーションがあることを認めて問題を取り扱ふならば解決は比較的容易であるけれども、各人が自分の說こそ完全無缺であるように自惚れる處に大なる困難が潛んでゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

過激主義者。でも、問題がまだパーソナル・イクエーションの範圍内にある間こそ恕すべき餘地もあるが、併し、一般過激主義者のように「野蠻時代の遺物、復讐主義が其の主義であるよ」かのような觀念を一般人に持たしめたことは其の主義のために遺憾である。

依然と跋扈する待合政治。 近頃、最も不愉快なことは東京市長に對する鳩山氏の不遜なる言葉である。東京市民は既でにウンザリしてゐる。前々市長後藤氏が辭職した時には又もあのごた〳〵を見せられるかと顰めかけた市民の眉は、永田氏の誠心誠意を現した活動振りに先づ〳〵市民は滿足したことによつて忽ちに開いた。以來、鳩山氏は「あれ位の市長なら外にいくらでもあるから生意氣な事をするなら辭めて貰はう」と云つて、永田氏が辭職するように仕向けた。東京市長は、鳩山氏並びに鳩山氏同腹の人々の市長であるかのようにふるまつたことは東京市民を憤らせてゐること、且ツ、「待合清藤を本城にしたよ」と氏は平氣で云つてゐるが、待合政治に對して新時代の人々が如何なる感情を持つてゐるかを氏に敎へるよう、氏の賢母並びに良妻に忠告して置かう。（九月十八日）

パーソナル・イクエーションの問題

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯を終つて

九月二十三日。秋季皇靈祭。朝雨戸を開ける務がドンヨリ下りてゐる。けれども其の務はだん〳〵晴れて行く。何處やらかち〳〵の忙しない囁りが聞へる。姙娠中で外出がおつくうな中野に住む友人に面談することがあるので朝飯後直ぐ出かけた。省線電車に乘る運動服運動靴に身をかためた二十歳前後の學生と土工達が半々に入りまじつて腰かけてゐる。祭日の一日を悠々とした野外で球を投げて遊ばうとする青年達の顏は丁度その朝の空のやうに晴々と澄んで活氣が頭の先きから足の先き迄躍動してゐる。

一方、土工は？　と見ると、若い者も居るには居たが併しそのうちの幾人かは髪も髭も三分の二迄り白い、シワクチヤにひからびた皮膚、濁つた目、全く、生氣の枯れた此の體でこれから夕方迄の勞働は？　と私の心は暗くなる。

うちの子供らも今十九の運動盛りで可哀想だとは思ひながらも、運動させる氣になれないのは矢張り此の氣持ちである。

働く時には皆で働き、遊ぶ時には皆で遊ぶと云ふ社會狀態にならなければ思ひ切つて運動に熱中することを許さない親を持つたうちの子供達は幸か？　不幸？

◎土田銀松樣を通して此の度本誌の愛讀者になられた高山光子樣、須田きよ江樣、佐藤高山元子樣、大瀧トラ子樣へ。あなたまさ江樣、大瀧人達が此の小誌を御た方地方の婦人達が此の小誌を御愛讀下さいますことを私は喜びます。それは單に雜誌の讀者が殖へたと云ふことばかりではありません。私の主旨が地方に徹して行つて後にはそれが地方文化の建設に必ず貢獻する處がある事を信じて居るからです。御自重を祈ります。

本誌臨時定價表		
一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	（送料共）

雜誌代及郵稅は前金の事　送金の際は振替貯金東京五三六八番に御拂込みのこと　郵券代用は五厘切手にて一割增　單價廣告は御照會次第御相談いたします

大正十三年九月廿三日印刷納本
大正十三年十月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN